

No	キャラ名	台詞
5-001	彩蝶	あら、しみてしまいましたか？ でも痛いのは生きている証。
5-002	彩蝶	それにこうしてお酒で全身を清めれば 傷口に雑菌が入る心配ありません。
5-003	彩蝶	雑菌塗れのお肉なんて お腹を下してしまいかもしれませんからね。
5-004	彩蝶	おや、なにかおかしいことを言いましたか？
5-005	雛菊	姉さんはなんにもおかしくない、 姉さんは常に正しい。
5-006	彩蝶	うふふ、そうよね。 こうして私たちは数百年生きてきたんですもの。
5-007	雛菊	どうせ食べるならより美味しい方がいいに決まっている。 下味をつけるのは料理の基本。
5-008	彩蝶	他の準備は出来ている？
5-009	雛菊	斧も鉋も包丁もシッカリ研いでおいた。 あれならどんなに太い骨も一撃で断ち切れる。
5-010	彩蝶	偉いわ雛菊。 道具の手入れの大切さをちゃ〜んと理解しているわね。
5-011	雛菊	全て姉さんが教えてくれた。 大切なことはいつも姉さんが教えてくれる。
5-012	彩蝶	うふふ、可愛いわね。 可愛い可愛い私の雛菊。私のただ1人の妹。
5-013	雛菊	姉さん……
5-014	彩蝶	でもこんな上等な肉は滅多に手に入らない。 道具に頼らず素手で解体するのも良いかもしれないわね。

- 5-015 雛菊 骨が碎け筋肉がちぎれ肉の裂けるあの感触は素手ならでわ。
躍り食いもまた楽しい。
- 5-016 彩蝶 そうね。だけど忘れはならない一番のご馳走は、
断末魔の叫び。
- 5-017 彩蝶 そのでき次第でその後の食事の味が
ガラッと変わってしまうんですもの。
- 5-018 雛菊 うん。良い声で鳴いて貰わないと困る。
- 5-019 彩蝶 あら、困惑した顔をしてどうしたのですか？
一体なんの話をしているんだ、ですか？
- 5-020 彩蝶 あらあら、なんて察しの悪いお方なんでしょう。
もちろん今晚の食事について話しているんですよ。
こう見えて私ってお料理が得意なんですよ。
- 5-021 雛菊 姉さんの作る料理はどれも絶品。
- 5-022 彩蝶 ええ、それに関しては自画自賛したいほどなんですよ。
ですが残念なお知らせがあります。
貴方は料理を食べることが出来ません。
- 5-023 雛菊 そう、だってお前は食べられるんだから。
あ、でも生きたまま自分の肉を食わせることはできる。
- 5-024 彩蝶 それはなかなかの見世物だけど、
私は博愛主義者なのよ。
そんな残酷な真似は出来ないわ。
- 5-025 彩蝶 だからちゃ〜んと殺してから調理しなきゃ。
あ〜、喉をかき切った時に吹き出す鮮血を想像するだけで、
せっかく鎮まった体が、また疼いてしまう。
- 5-026 雛菊 お前達はなんだ？
なんだとは口の利き方がなっていない。

- 5-027 彩蝶 まあまあ、これから私たちの血肉になる方なんだから、
ここは敬意を払って教えてあげましょう。
- 5-028 彩蝶 私たちは人間ではないのですよ。
この地に百数十年住み続けている鬼の姉妹。
- 5-029 雛菊 こんな山奥にうら若い姉妹が2人で住んでいるはずがない。
疑問に思わなかったのならおめでたい。
- 5-030 彩蝶 まあ、そんなわけで貴方は運悪く
そんな私たちに捕まってしまったというわけです。
私たちにとっては実に運の良い話ですが。
- 5-031 雛菊 姉さんが見つけれなければ今頃熊に襲われ死んでいた。
少しとはいえ生きながらえたのだから、
この男にとっても運は良い。
- 5-032 雛菊 なにより姉さんの血肉になれるんだから、
これ以上の幸せはない。
- 5-033 雛菊 男は嫌いだけど肉に罪はない、
精気を吸いつくして骨までしゃぶる。
- 5-034 彩蝶 あら、雛菊。頬に精液がついているわ。
ジッとしていなさい、舐めとってあげる。
レロッ……
- 5-035 雛菊 姉さん……
- 5-036 彩蝶 あらあら、そんな蕩けた瞳をして。
また火がついてしまったかしら？
- 5-037 彩蝶 仕方がないわね。
ご馳走の前に姉妹仲良く愛し合いませんか。
- 5-038 雛菊 姉さん……チュパチュパ……んうう……んはああ……
ん……はああ……チュパチュパ……

5-039 彩蝶 雛菊……チュパチュパ……んうう……んはぁぁ……
ん……はぁぁ……チュパチュパ……

5-040 SE 土砂降り